

平成 29 年 3 月 30 日

奄美市長 朝 山 毅 殿

奄美市行政改革推進委員会

会長 務村克彦

「第 2 次奄美市行政改革の評価・検証結果」及び「奄美市における今後の行政改革の方向性」について（提言）

平成 22 年度から取り組んできた「第 2 次奄美市行政改革大綱」及び「実施計画」が取組期間を終え、その取組結果及び実施者による内部評価・検証に対して、第三者機関として当委員会による外部評価・検証を行いましたので、今後の取組の参考とされたい。

また、当委員会では前述の評価・検証結果を踏まえ、本市における今後の行政改革の方向性についても併せて議論したところ、次のとおり取り組むべきとの結論を得ましたので提言します。

- これまでの行政改革に関する取組により、そのノウハウ等が実施主体である市当局の中に醸成されており、第 2 次奄美市行政改革に掲げた実施項目においても、これを推進し管理するための制度・計画等が概ね確保されていることから、今後はこれまでの行政改革大綱の基本方針である「市役所の改革（市役所の自立（律）」、「市民サービスの改革（市民の自立（律）」、「市民と行政の共生・協働力（自助・互助（共助）・扶助（公助）」を各制度・計画等に委任し、それぞれが P D C A サイクル等の行政改革手法により自走することで、奄美市総合計画が目指す基本理念と将来都市像の実現に向けて、より効果的・効率的に取り組むことを求めます。